

卯年 地震津浪國中 騷年号 改安改

大小 奈ん其れ大いんいなー福うを記

御容極方並沙輝極先常程の妻を法違へ
為花出候出極奉喜候極私方法此の契の
を以人目指小極業任清小難を仕合
清公の契此口惠しん作し秘する家善積を風雅を
昔と嘗しんも茂しん此思業れ力小及も尺唯也
のさのは運びを仰ぐ軒場へ喜喜も上野の
山後世を不忠の強がらん夏も浮せれ陽去澤
蓮飯香の香に暑さを拂ぬ手紙を紙向沙窓
梅のいあぬ小秋をかけも月酌の宴冬もぬ小
ぬる雪れゆきもさくもあ心を利小思業をへん
即席料理酒は酒をりて富士見酒極新川
の一本業法飲口も考一室相からるる法公の
きれ法飲極方作合四季折々の抄記
駕と係小飲小奉しん喜も小秘も小極年述

不忠并天境内

正月十一日

三川屋長者